NIE実践報告

1．タイトル：☆もっと気軽に、もっと身近に。――情報源としての新聞を身近に感じる時間を作る。

2．学校名

北海道吉田学園医療歯科専門学校

3．実践者名（代表者名）

門脇　英敏

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

表現基礎　134人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事から、2分間スピーチを。

7．目標（狙い）

①社会で起こっていることに興味、関心を持ち、自分なりの考え方を他人に伝えることができる。
②事実とそれに対する意見や感想をまとめることにより、目的に応じた文章表現力、口語表現力を養う。

8．評価の視点

①記事を選んだ理由、記事への意見や感想をスピーチ原稿、スピーチメモにまとめられたか。②聞き手にわかりやすい速さ、音量、表現で話せたか。③アドバイス票に適切な助言を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①新聞の基礎知識（90分）②紙面構成の確認と記事探し（60分）③コラムの書写、要旨など（90分）④社説の読み取り（60分）⑤スピーチの関係（本時　140分）⑥大きな記事の複数紙読み比べ（180分）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞　2紙配布
②興味、関心のある記事を選定（50分）
③新聞記事の切り抜き、切り抜きのワークシートに貼り、選んだ理由等を書き込む（10分）
④700字程度の2分間スピーチ原稿を作成（50分）
⑤スピーチメモの作り方を参考にし、メモを作成（10分）
⑥メモを持ってスピーチをする（2分）
⑦相互評価（アドバイス票に書き込む）（3分）
⑧事故評価（事故チェック票に書き込む）（3分）

（留意点）
・スピーチをとおし、相手が聞きやすい速さ、音量、言葉遣いや目線で話せたか。
・聞き手は、相手が話しやすい雰囲気作りやスピーチ論旨を理解できる聞き方をしたか。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

①スピーチ体験を肯定的に評価していた。②記事内容と意見を2分間スピーチにまとめることの難しさを感じていた。③新聞にいろいろな記事が載っていることを再確認した。④聞き手に合わせた間の取り方や視線の向け方、アドリブを入れてのスピーチに難しさを感じながらも、次回にそれを生かそうとしていた。

12．成果と課題

①スピーチメモとスピーチ原稿、両方を持たせてのスピーチは、目線が原稿に向き、聞き手の反応に合わせた間、アドリブのあるスピーチになり得なかった学生もおり、新年度はスピーチメモだけにしたい。
②アドバイス票は適切に書かれており、次回スピーチに生かしていた。スピーチ終了後若干の質疑等をとおし、コミュニケーションの場になる工夫が必要だった。
③「複数紙読み比べ」の「写真付き記事」印刷が不鮮明であった。コピー機での印刷は、費用面で難しい。
④切り抜いた記事の活用の工夫。